参考資料

韓独技術協力事業

経緯

1. 1972.4：韓独経済会談에서 西独林業技術者 派遣을 合意.

2. 1972.8.13 ~ 10.21：山林経営 및 山林工業 専門家(2名) 来韓
   ◦技術調査 報告에 約 400万 DM 技術援助 建議

3. 1973.10.25 ~ 10.29：両日間 '73 韓·独 経済会談協議 (科技処) 結果 4.085千DM 独逸援助 合意.

4. 1974.5.30：韓独 技術協力事業 計劃書 提出 (科技処)

5. 1974.5.30：韓·独 技術協定案 当方 異見없음을 回報(外務部)

6. 1974.6.4：同協定案 当方 異見없음을 回報 (科技処)

7. 1974.7.9：차관회 閣議 통과 通過

8. 1974.7.16：閣裁 裁可 閣裁 裁可

9. 1974.7.29：大統領 裁可 大統領 裁可

10. 1974.7.31：両国代表 署名 両国代表 署名

韓·独 技術援助事業을 為한 協定

〈要 約〉

A. 独逸政府側 義務

1. (a) 第14団地 林業経営 支援이 目的
   (b) 5年間 実施
   (c) 本部는 서울에 設置

2. (a) 独逸은 5年間 3人의 專門家 派韓
   (b) 独逸은 其他 專門家 6~8名(77人/月) 派遣
   (但, 事業管理人 要請으로 韓国側과 協議하여)
   (c) 2人以内의 事業補助者 派韓 可能
   (d) (b)項의 韓人代替 專門家로 因한 剰余資金(独逸貨)는 装備 및 海外訓練用으로 転換可能

3. (a) 独逸은 CIF 価格 DM 564.000 의 器材供与
   (b) 導入物資는 韓国財産化(但 派韓 專門家 專用)

4. 独逸은 5人以内의 奨学生 1年式 教育

B. 韓国政府側 義務

5. (a) 다음 人力 配置
   - 3人 独逸專門家에 対한 3人의 対充要員
   - 通訳官
   - 運転手, 技術職, 補助職員

   (b) 建物 및 其他 固定 施設
   (c) 專門家를 現場에 配置
   (d) 車輛에 対한 事故保険 負担

6. 必要한 記録과 文書 提供

7. 本協定書는 韓国側 同意署名과 同時発効

韓独林業技術協力事業

山　林　庁

444 165

韓独林業技術協力

1. 名　称：林業経営示範事業
(Forestry Management Model Project)

2. 期　間：1975. 1. 1 — 1979. 12. 31 (5年間)

3. 内　容：

　가. 基礎調査 …… 土壌, 地位, 植生, 蓄積.

　나. 営林計画作成

　다. 種苗事業…国内及導入樹種, 選抜試験.

　라. 資源造成…造林, 育林, 経営, 砂防, 林道

4. 実行機関

　事業総括：山林庁

　事業実行：山林資源調査研究所 (1,2次報)
　　関係地行政機関及韓独事業機構

　協助機関：林業試験場, 林木育種研究所

5. 事務所

　韓独事業機構；서울

　現場事務所；慶南 梁山 또는 密陽

6. 總事業費

単位 { 外 : 百万弗
( ) : 千独逸 마르크

	年度別内訳					計
	1975	1976	1977	1978	1979	
○ 總事業費	308	183	160	124	129	904
가. 韓国	138	68	62	62	63	393
나. 西独	170 (1,360)	115 (924)	98 (784)	62 (492)	66 (525)	511 (4,085)
○ 内訳						
가. 韓国	138	68	62	62	63	393
人件費	27	26	27	26	27	133
旅費	8	9	8	9	8	42
需用費	26	15	9	9	8	67
車輛費	15	15	15	15	16	76
施設費	53	-	-	-	-	53
豫備費	9	3	3	3	4	22
나. 西独	170	115	98	62	66	511
人件費	80	83	87	54	58	362
裝備	77	24	9	5	5	120
奬学金	9	8	2	3	3	25
豫備費	4	-	-	-	-	4

年次別 事業実行計劃

區分	1年	2年	3年	4年	5年
1. 地形図	———				
2. 実態調査	- - - -				
3. 計劃制度		———			
4. 計劃準備			———		
5. 養苗	———				
6. 造林地地拵		—	— —	—	—
7. 植樹			———	———	———
8. 除草			—	— —	— —
9. 試験造林			———		
10. 細部現地活動		— —	— —	— —	— —
11. 砂防事業			— —	— —	— —
12. 造景			———	———	———
13. 最終報告					—

162

造林大団地 14号 試験造林地域

